

ワールド通商株式会社
会社案内
corporate information





ごあいさつ

ワールド通商株式会社は、1970年の創業以来、総合商社として、世界各国の優れた商材を取り扱ってまいりました。

自動車部品・オーディオ製品・スポーツ用品・アパレルなどの輸出入販売を行ってきましたが、現在ワールド通商は、下記のスイス製機械式腕時計フランクミュラー ウォッチランドグループと、そのファミリーブランドの日本輸入総代理店として、時計やジュエリー等の販売を全国展開しております。

ヨーロッパの腕時計文化が日本に今ほどまで浸透していない80年代、高品質で文化の違うヨーロッパ製品は、その独特な魅力と年月を重ねても決して色あせる事のない新鮮さから、感受性の高いお客様に必ず受け入れていただけることを信じ、スイス製腕時計の輸入販売を開始いたしました。

創業以来、そうしたお客様にご満足いただけるよう長い月日をかけ、私共はヨーロッパの真髄を見極める目に磨きをかけ精進してまいりました。

“時”というものは本来、目に見ることの出来ない無形のものですが、そんな時を目で確認できるように表現しているのが時計です。人間は誰もがこの世に生を受けた瞬間から“時”というものの恩恵を受けます。永遠に流れ続ける“時”の中で、人間に与えられた“時”は限りあるものであり、その向き合い方により、人生は豊かにもなるものだと考えます。

私共が取り扱う時計は、時刻を知るためだけのものではなく、オーナーの個性やアイデンティティーを表現し、人生の苦楽とともにするパートナーとなるべきものと思っております。

フランクミュラーは、古典を重んじるスイス時計業界で、世界的な高級機械式時計ブランドとして約20年という短い月日において加速度的な成長を遂げました。彼の創る作品は、スイスの伝統文化である時計の域を超えて、想像を遥かに超えた芸術作品として個性があり驚愕の連続で、まさに若き日の天才時計師の作品を目の当たりにしたのです。

彼の天賦の才は、世界中の多くの若き時計師に希望を与え、顧客に夢を魅せます。そして現在においては、フランクミュラーのみならず、個性際だつ数々のブランドが参画し、一大時計グループとなりました。フランクミュラーのもとに集結した若き非凡な才能と魅力を纏う時計ブランドが新たな時代を作り出すことを信じています。

この歴史の始まりを、ブランドの1991年創業から携われたことを私共は誇りに思います。

これからも人生のパートナーとして私共の時計が存在するために、国内屈指の技術力を持つアフターサービス体制を整え、不変の価値を伝え続ける為に、万全なアフターサービス体制もご用意しております。

様々な時代、地域の伝統文化や哲学、そして作者の想いや情熱が注ぎ込まれた機械式腕時計という芸術作品を、これからも伝え続けることを「ワールド通商株式会社」は使命としています。



代表取締役社長 河合 寿也
Toshiya Kawai

FRANCK MULLER
GENEVE

FRANCK MULLER
JEWELLERY

FF FRANCK MULLER FUTURE FORM

PIERRE KUNZ
GENEVE

BACKES & STRAUSS
London

EUROPEAN
COMPANY WATCH

Barthelay
MONTRÉAL D'EXCEPTION

MARTIN BRAUN

PIERRE MICHEL
GOLAY

RODOLPHE

CVSTOS
THE TIME KEEPER



| 会社概要

社名 ワールド通商株式会社 WORLD COMMERCE CORPORATION
設立 昭和45年3月
代表者 河合 寿也
資本金 4,500万円
事業年度 每年1月1日から同年12月31日まで
社員数 122名(2025年4月1日現在)
本社 東京都中央区銀座5-11-14 ポスコ東京ビル
<http://www.wccweb.jp>

| 直営店

フランクミュラー ウオッチランド東京	東京都中央区銀座5-11-14 ポスコ東京ビル1F
フランクミュラー ウオッчランド大阪	大阪府大阪市中央区南船場3-9-15 御堂筋武田ビル1.2F
フランクミュラー ジュネーブ	東京都中央区銀座6-10-1 GINZA SIX 2F
ウォッチランド ギャラリー東京	東京都中央区銀座5-11-14 ポスコ東京ビルB1
ウォッチランド ギャラリー大阪	大阪府大阪市中央区南船場3-9-15 御堂筋武田ビル
	フランクミュラー ウォッチランド内

| 主な取引銀行

りそな銀行 三菱東京UFJ銀行 三井住友銀行 みずほ銀行

| 役員一覧

代表取締役社長	河合 寿也
取締役	和田 雅彦
取締役	齋藤 洋之
取締役	原田 裕次郎
取締役	西垣 嘉人
監査役	滝江 孝子

FRANCK MULLER
GENEVE



FRANCK MULLER [フランク・ミュラー]

<http://www.franckmuller-japan.com>

創設からわずか数年あまりで独自の地位を獲得したスイス機械式時計メーカー フランク・ミュラー。

フランク・ミュラーは長年にわたり、機械式時計の歴史上、過去に前例を見ない傑作といえる作品の数々を創作し続けてきました。“Master of Complications” フランク・ミュラー作品の裏蓋には、この文字が力強く刻み込まれています。1983年それまで複雑時計がポケット・ウォッチの分野のみに留まっていた時代に、複雑機能を搭載する腕時計というコンセプトを思い描き、以来わずか20年足らずで、既に30ピースを優に越える世界初の超複雑時計や、新案特許を取得した過去に前例を見ない革新的なシステムの製品を数多く世に送り出しています。

フランク・ミュラーの時計製作におけるそのポリシーは、古くから受け継がれた伝統を忠実に継承しながらも、常に腕時計に対する発想の転換と卓越した美的感覚をその高度な技術力をもって具現化することにあります。その作品は、21世紀の現代社会において、もはや忘れ去ろうともする本来の“時”的解釈を、未来的ともいえる新たな表現で腕時計というキャンバスに描かれています。

それは“人と時”という太古からの親密な間柄を改めて想起させ、持つ者に“時の慈しみ”を気付かせてくれます。その繊細且つ複雑な部品ひとつひとつに込められた時計師達の魂が、それを身に付ける人が持つ“時”を有意義なものとする事。刻まれた文字には、そんなフランク・ミュラーの“時の哲学”が込められています。



FRANCK MULLER
GENEVE

Watch Collection



FRANCK MULLER JEWELLERY



FRANCK MULLER JEWELLERY [フランク・ミュラー ジュエリー]

CURVEX CUT DIAMOND カーベックス・カット ダイヤモンド・コレクション

フランク・ミュラーの原点ともいべき「トノウ・カーベックス」の洗練された時計のフォルムから発想を得たカーベックス・カット ジュエリー。独自のカーベックス・カットは、73面の理想的な比率にカットされており、通常、ダイヤモンドに用いられるラウンド・カット(58面体)よりも照りが強く、目も眩むような輝きを放ちます。最高の品質と卓越したテクニックから生まれた「カーベックス・カット ジュエリー」はフランク・ミュラーが創りだす世界でただひとつだけのカットといえるでしょう。



TALISMAN タリスマントレーリー・コレクション

数字のシンボリズムから誕生したジュエリー、「タリスマントレーリー・コレクション」。数字には無限の組み合わせが存在し、同時に私たち一人一人が、それぞれに固有の数字との関わり合いを持っています。誕生日や記念日といったあなただけの“特別な数字”。時計の文字盤上の数字はフランク・ミュラーの原点であり、そこに宿る幸運のパワーを感じています。ジュエリーウオッチで培われたデザイン美学と宝飾技術が花開きました。





FRANCK MULLER FUTURE FORM [フランクミュラー フューチャー フォーム]

<http://franckmuller-fff.com/>

FRANCK MULLERの腕時計は、時間を楽しむ為の大きな役割を担っています。しかし、“時の哲学者”と謳われたFRANCK MULLERは、いつしか時計という枠にとらわれず、もっと広い視野で“時の流れ”について考えるようになりました。何物にも代えがたい幸せな時間を過ごすためのアイデアは、日常生活の中にたくさん埋もれているのではないだろうか、という思いを強めていったのです。

そして、『FRANCK MULLER FUTURE FORM』が誕生しました。

大切な家族や親しい友人たちとの食事ほど幸福な時間はない、という彼の考え方から、先ずはテーブルウェアからコレクションをスタートしました。プレート、カトラリー、グラス、そしてテーブルクロスなどには時計界を席巻したビザン数字がデザインされており、テーブルの上は瞬く間にFRANCK MULLERの世界に包まれることでしょう。

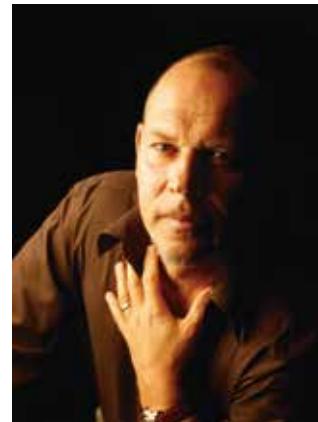
『FRANCK MULLER FUTURE FORM』では、テーブルウェアを皮切りに、家具や照明など、トータルで幸せに満ちた空間を提案していく予定です。特別な腕時計が示す心湧き立つ時間や日々の暮らしの中の心地よい時間や空間、そうした幸せな時空間の全てに携わりたい…。

FRANCK MULLERはそう願っております。





PIERRE KUNZ
GENEVE



ピエール・クンツ氏



PIERRE KUNZ [ピエール・クンツ]

<http://www.pierrekunz.jp>

1959年スイスのベルンで生まれたピエール・クンツは、少年の頃から機械式時計に強い関心を抱き、ヴァレ・ド・ジューの時計学校に入学します。卒業後、名門工房の一員として数年間過ごした後に独立、著名な時計ブランドの時計師を経て、1997年からフランク・ミュラーの工房で働くようになりました。

フランク・ミュラーの工房でユニーク・ピースの製作に取り組んでいたとき、彼の飛び抜けた才能に注目したマネージャーが新ブランドを創設するようにすすめ、彼に全幅の信頼を寄せたウォッチランドグループは彼の名でオリジナルモデルを作る許可を与えました。こうしてピエール・クンツは、2002年に自身のブランドを立ち上げたのです。

ピエール・クンツの特徴は、すべてのモデルに秒、分、時間、曜日などに扇状に動くレトログラードが搭載されていること。ピエール・クンツは、コンテンポラリーでありながらクラシック、技術的な完成度の高さと芸術的なデザインの完璧な融合に挑みつづけています。



BACKES & STRAUSS [バックス & ストラウス]

<http://www.backesandstrauss.jp>

「バックス & ストラウス」は、1789年創業、ロンドンを拠点とする世界で最も歴史あるダイヤモンド会社です。同社が使用する類稀なダイヤモンドカッティングは、ダイヤモンドの中に“hearts & arrows”(ハートと矢)の陰影を映し出します。200年以上もの間、ダイヤモンドに情熱を注いできた「バックス & ストラウス」。彼らが

フランク・ミュラー ウォッチランドと出会うことにより、最高のダイヤモンドが最も輝くように計算された腕時計が誕生しました。ダイヤモンドは完璧なカッティング技術によって幾何学的対称性が際立ち、ケースの大きな曲線は理想的な光が全てのダイヤモンドに届くように計算された、他に類のない傑作です。ロンドンの数ある歴史的で魅力溢れる伝統や遺産から着想し、リージェント、バークレー、ピカデリーの3種類をコレクションの根幹としています。“光”と“時”を操る豊かな知識と技術、受け継がれたロンドンの伝統や先人の意思が、「バックス & ストラウス」の時計を唯一無二の存在たらしめているのです。



CVSTOS

THE TIME KEEPER



CVSTOS [クストス]

<http://www.cvstos.jp>

ラテン語で「時の守護神」を意味するクストスは、サスーン・シルマケスとアントニオ・テラノヴァという、若く才能に溢れた二人が出会うことから始まります。未来志向の時計作りへの強い意志と、魅力溢れるデザイン性で多くの時計愛好者を驚かせたいという欲求を持った彼らは、確固たる3つのコンセプト（ハイテク・スポーティ・ラグジュアリー）を共有し、クストス・テクノロジーを築き上げていったのです。

クストスは他の時計ブランドが明日行うことを今日実行する。そして創作に徹することにより成長を遂げてきました。常に時代の一歩先を行くクストスは、ハイエンドな時計の分野で先進性の目安となる指標を演じ、来るべき最先端のトレンドを予感させます。

PIERRE MICHEL GOLAY



PIERRE MICHEL GOLAY [ピエール・M・ゴレイ]

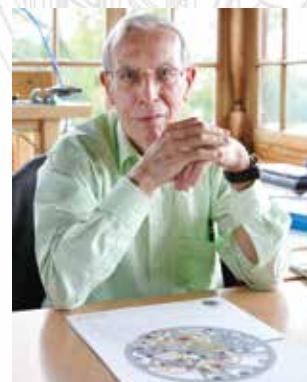
“PIERRE MICHEL GOLAY”ブランドの時計は、職人技を凝らして描かれた一幅の絵画を思わせます。制作者であるピエール・M・ゴレイ自らの手描きで設計されたムーブメントと部品は、精緻を極めるのはもちろん、各々がこの上なく美しいハーモニーを奏でるように、個々の形や機能が徹底的に研究されています。その時計は伝統技術がみごとに結実した最高峰の作品となっています。ピエール・M・ゴレイはスイスの著名なブランドで類稀なる技術力と発想をもってグランドコンプリケーションの時計制作に携わってきました。その後、ジュネーブ時計学校で教鞭を執ったのちに、フランク・ミュラー ウォッチランドに参画します。

彼が開発プロジェクトに携わり、製品化されたものには、非常に重要なものが含まれています。「レボリューション1～3」「エテルニタス」や「エテルニタス・メガ」も同様です。2軸や3軸トゥールビヨン等といった時計の歴史に残る本物の革新に値するメカニズムは、フランク・ミュラーとピエール・M・ゴレイを中心とし、活気にあふれる若手チームが開発したのです。

フランク・ミュラーはゴレイ氏のことこう云います。

「彼は現役の時計師でグランド・マスター、最上級レベルの職人と呼ばれるような人です。

コンピューターをいっさい使わない昔ながらの時計師として、このレベルでは最後の時計師です。ゴレイさんほどの時計師はもう現れないでしょう。」





EUROPEAN COMPANY WATCH

[ヨーロピアン・カンパニー・ウォッチ]

<http://www.ecw.jp>

2000年に誕生した「ヨーロピアン・カンパニー・ウォッチ」。そのコンセプトは1930年代に世界を圧巻したアール・デコ様式を21世紀的な視点の見立てからデザインし、新たな時代のエレガンスを打ち出すことです。またそのモデルはサハラ砂漠や地中海に象徴されるロマンとエキゾティシズムに溢れています。それは古くから冒険心にとんだ多くの欧米の男達を魅了し続けた1930年代の北アフリカへのオマージュを具現化しています。



BARTHELAY [バルトレー]

<http://www.barthelay.jp>

1930年代にパリで創業された「Barthelay」。2代目ローランド・バルトレーが1960年代に父の会社を継ぐと、彼は時代のモードをいち早くモチーフに取り入れます。それまでオーダーメイドが主流であった腕時計をプレタポルテとしてスタートさせました。また、ジーンズにもソフレにも合う新しいシェイプの腕時計を作り、女性の支持を幅広く得ました。

時勢に乘じつつも、職人技が持つ価値と、本物だけが醸し出す品性に、常に忠実である「Barthelay」は、優美さとパリの精神に満ち溢れたコレクションを世に送りだしています。





RODOLPHE

RODOLPHE [ロドルフ]

<http://www.rodolphe.jp>

音、イメージ、感情を観察、記憶し、そこから作品を生み出すデザイナーのロドルフ氏は、これまで幾多の老舗メーカーのデザインを手がけ、伝統的な世界に新たな息吹を吹き込んできました。

そして、これまで構想を持ちながらも実現不可能とされた腕時計を、フランク・ミュラー ウオッチャンド社が完璧に具現化。従来の製作手順とは対極の、外観部分であるケース、文字盤、針、リューズを製作した後に、ムーブメントを製作するという手順を行うことで、斬新で洗練されたデザインの時計作りを実現しています。



MARTIN BRAUN [マーティン・ブラウン]

<http://www.martin-braun.jp>

ドイツを代表する時計師の一人であるマーティン・ブラウンは、1964年に彫金師の息子として誕生。フォルツハイムの時計学校を首席で卒業する際に、カレンダーシステムを応用した日付・ムーンフェイズ・均時差表示付きの複雑なテーブルクロックを製作し、周囲に彼の尋常ならざる才能を印象付けました。1998年に「マーティン・ブラウン」ブランドを設立。若き鬼才の時計師と称される彼は、ドイツ時計界の栄誉であるゴールデンルー最優秀デザイン賞など、欧州において数々の高名な賞を受賞しています。



時計づくりの桃源郷 ①

FRANCK MULLER WATCHLAND



フランク・ミュラー ウオッチランド グループの
本拠地として

スイスのジュネーブ市街地からほど近い村、ジャントゥ。正面には雄大なモンブランを望み、眼下には美しいレマン湖を見下ろす長閑な丘陵地に、『FRANCK MULLER WATCHLAND』はあります。いまなお中世の面影を色濃く残す伝説的な美しさと穏やかな雰囲気に心を動かされたフランク・ミュラーは、1986年、この村に創作工房を構えました。1992年にはフランク・ミュラーとヴァルタン・シルマケスによって「FRANCK MULLER GENEVE」として会社を設立。その後 1995年には、同じくジャントゥにある城館“レ・ザマンドリエ”に本拠地を移し、時計創作にふさわしい理想的な環境を備えた場所として、この地を『FRANCK MULLER WATCHLAND』と命名しました。そしてウォッチランドはネオ・ゴシック様式の城館を中心に、外観デザインのすべてを丁寧に踏襲した建物を増築。素晴らしい景観を維持しながら、まったく新しい空間へと進化しました。





時計づくりの桃源郷 ②

FRANCK MULLER WATCHLAND



ここは時計制作の桃源郷

ウォッチランドと名付けられたこの地では、フランク・ミュラーならではのコンセプトに従い、腕時計製造に関するすべての工程が行われています。独自の機構を持ったプロトタイプの開発や最先端技術の研究、中世から受け継がれてきた時計技術を若き時計師たちに伝えていく人材育成の場、伝統文化の継承地、時計産業の中心としての役目も担い、まさに「時計制作の桃源郷」として現在も進化を続けています。

そして毎年1月には新作発表会(WPHH / The World Presentation of Haute Horlogerie)を開催。フランク・ミュラーを始め、ウォッチランド ブランドの新作を発表する一大イベントとなってます。





WPHH

THE WORLD PRESENTATION
OF HAUTE HORLOGERIE

世界最高峰の機械式時計の祭典

WPHH (The World Presentation of Haute Horlogerie)



フランク・ミュラー ウォッチランドグループでは、1998年以降、毎年スイス ジュネーブ近郊の本社（ウォッチランド）にて新作発表会、WPHH (The World Presentation of Haute Horlogerie)を開催しています。

WPHHには毎年、世界中よりディストリビューター、ディーラー、そしてプレス関係者等の多数の人々が集まります。新たに発表される新作ウォッチに一喜一憂するのです。

2010年には、初めて時計とジュエリーをあわせた新作発表会、WPHH in MONACOをモナコで開催しました。

同グループブランドであるFRANCK MULLER, PIERRE KUNZ, BACKES & STRAUSS, EUROPEAN COMPANY WATCH, RODOLPHE, Barthelay, MARTIN BRAUN, PIERRE MICHEL GOLAY, FRANCK MULLER JEWELLERYに加え、パートナーであるCVSTOSなどのブランドを交え、最新作を発表しています。華やかな雰囲気の中、開催されるガラ・パーティーとともに唯一無二の発表会を大成功させました。



FRANCK MULLER

Wedding



フランク・ミュラー ウエディング ～人生最高の瞬間を永遠の記憶にのこす祝宴～

フランク・ミュラー ウエディングには、複雑な機能や独創的なアイディアで新しい時間の概念を提唱する、フランク・ミュラーの『時の哲学』が受け継がれています。

代表作のひとつ「クレイジー・アワーズ」の文字盤にある1から12の数字は順序立ててならんでいません。数字達は好きなところに散らばっています。しかし、正確に時を刻み、知らせています。フランク・ミュラーはこの時計を通じて、何にも縛られず日常の生活を独創的に、そして自由に過ごすという事をわたしたちに提案しています。

また、「ヴェガス」という時計は、正確に時を告げる一方、不規則を象徴するルーレットが搭載されています。そこには、人生はギャンブルであり、未来を知る事ができないからこそ楽しみに満ちている事が表現されています。

フランク・ミュラー ウエディングとはそんな彼の新しいクリエーションのかたち。顧客の依頼によって一点ものの時計を製作するという、オートクチュール的な物創りを原点とする彼が提案するウエディングは、既成概念に捉われることなく、自由で無限の可能性を秘めています。

“今まで以上に、人生という時間を謳歌してほしい”というフランク・ミュラーからのメッセージがこめられた祝宴の時間です。

<http://franckmuller-wedding.jp>



FRANCK MULLER WATCHLAND 東京

直営ブティック



フランク・ミュラー ウォッチランド東京

〒104-0061

東京都中央区銀座5-11-14

ポスコ東京ビル1F

TEL: 03-3549-1949

営業時間: 12:00 ~ 19:30

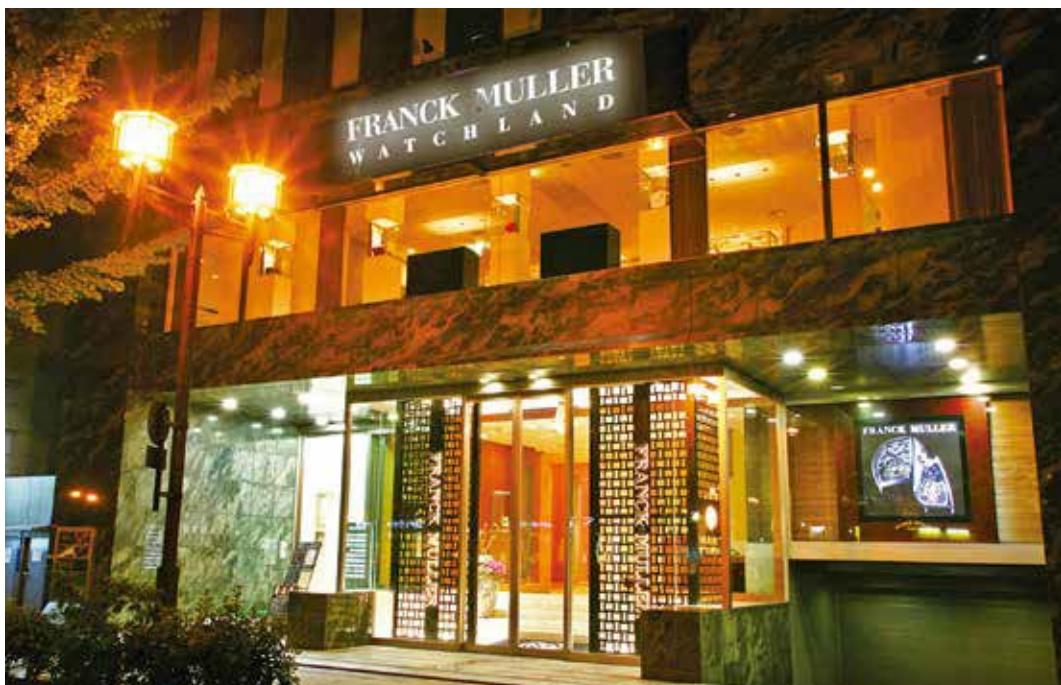
<http://www.watchland.jp>





FRANCK MULLER WATCHLAND 大阪

直営ブティック



フランク・ミュラー ウォッチランド大阪

〒542-0081

大阪府大阪市中央区南船場 3-9-15

御堂筋武田ビル 1.2F

TEL : 06-6251-4101

営業時間 : 11:30 ~ 19:00

<http://www.watchland.jp>





WATCHLAND GALLERY

<http://www.watchland-gallery.jp/>

Premium Approved Watch (PAW) 正規認定中古ウォッチ

「WATCHLAND GALLERY」(ウォッチランド ギャラリー)では、ワールド通商株式会社が正規輸入及び販売した
フランク ミュラー ウォッチランド グループの中古品を、-Premium Approved Watch-(正規認定中古ウォッチ)
として販売をしています。

テクニカルサービスの熟練した技術者の目と手による調整や、スイス製純正パーツとの交換など、多くの手間と時間
をかけてフルメンテナンスが施されたPAW(正規認定中古ウォッチ)には“最高品質の中古品”として「正規認定
保証書」が添えられ、受け継がれてゆくべきスイス高級時計の品質と共に“新たな価値”をもたらしています。
それらのPAW(正規認定中古ウォッチ)は、ウォッチランド ギャラリーの東京、大阪の2店舗と、ウェブサイト上の
インターネットにて日本全国のお客様に販売をいたしております。



ウォッチランド ギャラリー東京

〒104-0061

東京都中央区銀座5-11-14 ポスコ東京ビルB1

TEL : 03-6226-3210

営業時間:12:00 ~ 19:00 定休日:毎週月曜日

※祝、祭日の場合は営業いたします



ウォッチランド ギャラリー大阪

〒542-0081

大阪府大阪市中央区南船場3-9-15 御堂筋武田ビル

フランク ミュラー ウォッチランド内

TEL : 06-6252-3210

営業時間:12:00 ~ 19:00 定休日:毎週月曜日

※祝、祭日の場合は営業いたします





CUSTOMER SUPPORT

カスタマーサポート



サービスポリシー

ワールド通商株式会社はフランク・ミュラー ウォッチランド グループの日本輸入総代理店として、お客様に期待以上のご満足をいただけますよう、高級機械式時計、宝飾製品とともにアフターサービスに不可欠な「安心」をご提供できるよう心がけております。

テクニカルサービスセンター

高級機械式時計、宝飾製品を末永くご使用頂く上で欠くことの出来ないアフターサービスを通して、私共は輸入代理店という枠を超えて、最高品質のサービスとご満足をご提供出来るよう、自社内にてメーカークラスの技術体制を整えて参りました。国内外の最新鋭のハイテク機材、スイス本国にて最高水準の技術を習得したウォッチメーカーをアトリエに配し、現在ではスイスのメーカーにも引けを取らないトップクラスの技術体制のもと、オーナー様へのサポートに努めております。

私共が取り扱う高級機械式時計は単なる工業製品ではなく、時を紡ぐための美術工芸品であると認識しております。正規販売店にてご購入いただきました全てのお客様に『安心』という最良のサービスをご提供するために、私共はオーナー様からお預かりした時計を大切に取り扱う姿勢を忘れずにメンテナンスさせていただいております。また、進化し続ける少量生産の複雑時計にも末永く対応出来るよう、その卓越した技術を受け継ぐべくスイス本国での技術研修を含め、ウォッチメーカー同士の相互交流にも余念はありません。

永年、御客様と共に大切な想い出を紡ぎ上げてゆく時計を常に最良のコンディションでご使用頂けますよう、ワールド通商は御客様と共に歩むための努力を惜しまないことをお誓い申し上げます。





| 会社沿革

昭和45年 (1970)	東京都文京区千石に設立 自動車用品、オーディオ製品、楽器、スポーツ用品、雑貨などの輸出入業を目的とする オーストラリア、イギリス、中近東方面への日本製品の輸出オファー開始
昭和46年 (1971)	英国よりスカッショウラケット用品の輸入開始
昭和47年 (1972)	オーストラリアよりクレーコート簡易組立スイミングプール輸入開始 オーストラリア レブコ社へ、カー用品輸出開始
昭和48年 (1973)	事業拡大に伴い、本社を港区赤坂1丁目に移転 (株)ヤマコ社の協力を得てイギリスよりアストラリー社と輸入代理店契約 皮巻ハンドルとアルミホイール輸入 イギリスBBL社へオーディオ製品及び自動車用工具の輸出成約
昭和49年 (1974)	イタリアのビタローニ社と輸入代理店契約。自動車用バックミラー輸入開始 オーストラリアK mart社へ、カー用品及び自動車用工具の輸出開始
昭和53年 (1978)	スイス ホイヤー・レオニダス社(現タグ・ホイヤー社)よりヘルメットクロック輸入開始
昭和54年 (1979)	ホイヤー・レオニダス社よりストップ・ウォッチの輸入開始。
昭和55年 (1980)	ホイヤー・レオニダス社とスポーツ時計を含めて総代理店契約。 オーストラリアAPS社と自動車用エンジンガスケット材料の販賣業務開始 スイスKIWI社と輸入代理店契約を結ぶ。バイク用KIWIヘルメットの輸入販売を開始
昭和58年 (1983)	事業拡大に伴い、本社機能を港区赤坂2丁目に移転 スイス レビュー・トーメン社と時計輸入代理店契約
昭和61年 (1986)	イギリス スポーツエンジニアリング社と "Powerjog"、トレッドミルの輸入代理店契約 イギリス マイタースポーツ社とラグビーボール輸入代理店契約
昭和63年 (1988)	事業拡大に伴い、文京区本郷へ営業所を開設し、本社機能を移転
平成3年 (1991)	本社ビル完成。文京区小石川5丁目(丸の内線 茗荷谷駅)スポーツエレガанс他移転
平成8年 (1996)	スイス レビュー・トーメン社の時計輸入代理権を(株)フレンディアへ譲渡
平成9年 (1997)	スイス タグ・ホイヤー社の時計輸入販売権をタグ・ホイヤージャパン(株)へ譲渡
平成10年 (1998)	ドイツ ランゲ&ゾーネ社と機械式腕時計輸入代理店契約 スイス フランク・ミュラー社と機械式腕時計輸入代理店契約 ドイツ クロノスイス社と機械式腕時計輸入代理店契約 オーストリア HEAD社とテニス用品の輸入代理店契約
平成12年 (2000)	東京 銀座に青山よりフランク・ミュラー東京店を移転、リニューアルオープン Penn社と輸入代理店契約 事業拡大にともない銀座に時計宝飾営業部を移転
平成14年 (2002)	フランク・ミュラー ジュエリー販売開始 ヨーロピアン・カンパニー・ウォッチ社の輸入代理店契約
平成15年 (2003)	スイス ピエール・クンツ社と機械式腕時計輸入代理店契約 ドイツ ランゲ&ゾーネ社との輸入販売権を譲渡 東京 青山にピエール・クンツ東京店をオープン 大阪 心斎橋にフランク・ミュラー大阪店を移転、リニューアルオープン 大阪 今橋にピエール・クンツ大阪店をオープン
平成16年 (2004)	株式会社フレンディアの吸収合併にともないスイス ヴァルカン社と輸入代理店契約 ビーウォッチ株式会社の吸収合併にともないフランス ベル&ロス社と輸入代理店契約
平成17年 (2005)	福岡にフランク・ミュラー福岡店をオープン オーストリア HEAD社のラケットスポーツ用品の輸入販売権、PENN社の輸入販売権を譲渡
平成19年 (2007)	フランク・ミュラー ウォッチランド社のグループ化に伴い ロドルフ、バルトレ、バックス & ストラウス、マーティン・ブラウン、クストス オーストリア ハブリング2と輸入代理店契約 東京 茗荷谷にキャビノチエ・ギャラリー東京をオープン 東京 銀座にアーム・オルロジュリ東京をオープン ピエール・クンツ大阪をアーム・オルロジュリ大阪としてリニューアルオープン 大阪 今橋にアパレル店舗 アーム・ヴァンキャトルセットをオープン
平成20年 (2008)	フランク・ミュラー福岡をフランク・ミュラー ウォッチランド福岡としてリニューアルオープン
平成21年 (2009)	フランク・ミュラー大阪をフランク・ミュラー ウォッチランド大阪としてリニューアルオープンし、併せてアーム・オルロジュリ大阪をフランク・ミュラー ウォッチランド大阪に吸収 フランク・ミュラー東京をフランク・ミュラー ウォッチランド東京としてリニューアルオープンし、併せてピエール・クンツ東京をフランク・ミュラー ウォッチランド東京に吸収 キャビノチエ・ギャラリー東京を茗荷谷より銀座に移転、フランク・ミュラー ウォッチランド ギャラリーとしてリニューアルオープン
平成22年 (2010)	フランク・ミュラー ウォッチランド ギャラリーをウォッチランド ギャラリーに改名 ウォッチランド ギャラリーにて正規認定中古ウォッチの販売開始 ベル&ロス、クロノスイス、ハブリング2の輸入販売権をオールブルー株式会社に譲渡 ヴァルカンの輸入代理店契約を終了
平成23年 (2011)	大阪 心斎橋にウォッチランド ギャラリー大阪をオープン
平成24年 (2012)	大阪 心斎橋にカスタマーセンターハウスをオープン フランク・ミュラー ウェディングの新事業を開始
平成25年 (2013)	河合寿也が代表取締役社長に就任。新役員による新体制がスタートする 本社を文京区小石川から中央区銀座に移転 名古屋 錦にウォッチランド ギャラリー名古屋をオープン